

静岡 2017年(平成29年)4月6日(木)

「もっと語ってほしかった」

大岡信さん死去 地元の三島、悼む声

三島市出身の詩人、大岡信さん(86)が5日、死去した。大岡さんは2003年に名誉市民に選ばれ、09年には業績を紹介する「大岡信ことば館」(同市文教町)がオープンするなど、地元との関わりも深く、関係者からは死を惜しむ声が上がった。

「三島や箱根、沼津の風景が私の作品の大きな要素。今でも私は三島とへその緒でつながっていると思っています」。大岡さんは04年に同市内で開かれた式典であいさつし、故郷への思いをそう語っていた。大岡さんは旧制沼津中(現沼津東高)在学中から同人雑誌を

作るなど制作活動を行っていた。著名になっただけでなく、三島市が創刊した「文芸三島」に長年にわたって作品を寄稿するなど、文化振興に貢献した。

死去の一報に、ことば館の岩本圭司館長(60)は「1200年前の万葉集から現代文学まで一貫して全体を俯瞰する能力に非常にたけた人だった。もっと

これからの文学を語ってほしかった」と残念そうに語った。大岡さんの人柄については「奥さんに聞くと、『自宅で友人らを招いて花見の会をやっても、最初は付き合っているが気がつくとも机に向かっていた』と。言葉を紡いでいくのが楽しかったんじゃないですか」と振り返った。

【垂水友里香】